

横浜港におけるアカカミアリの確認について

環境省が全国の65港湾で実施しているヒアリ確認調査（以下、「65港湾調査」という。）の横浜港調査において、令和3年7月19日（月）に発見されたアリについて、専門家による種の同定の結果、特定外来生物であるアカカミアリと確認されました。

確認地点周辺には、殺虫餌（ベイト剤）等を設置しています。

引き続き、環境省等と協力して、アカカミアリが確認された地点を中心に調査を実施しています。なお、当該アリが確認された場所は、コンテナヤード内であり、一般の方は立ち入ることができないエリアです。また、本件に関して人的被害はありません。

1 経緯

- 7/19 65港湾調査において、調査事業者が南本牧ふ頭で、アカカミアリと疑わしい働きアリ（約30個体）を発見。当該場所の周辺には、殺虫餌（ベイト剤）等を設置。
環境省関東地方環境事務所から、南本牧ふ頭でアカカミアリと疑わしい働きアリが発見されたと、横浜市へ連絡。環境省関東地方環境事務所が専門家に同定を依頼。
- 7/20 当該アリについて、専門家がアカカミアリであることを確認。
横浜市から地元関係団体、関係事業者等に注意喚起。
- 7/21 横浜市職員が南本牧ふ頭の当該場所を確認し、調査及び防除（ベイト剤と粘着トラップ設置）を継続（アカカミアリは発見されず）。
- 7/26 横浜市職員による2回目の調査及び防除（粘着トラップ回収とベイト剤設置）を継続実施。

2 今回確認されたアリについて

横浜港南本牧ふ頭で確認されたアリは、アカカミアリの働きアリ約30個体です。

3 今後の対応

横浜市は引き続き、環境省等と協力して、アカカミアリが確認された地点を中心に調査及び防除を実施します。

4 事業者の皆様へ

(1) 注意点について

- ・アカカミアリを刺激すると刺される場合があります。
- ・アカカミアリと疑われるような個体や巣を見つけた際は、刺激（アリを踏もうとしたり、巣を壊したり等）しないでください。

(2) 刺されたときの対応について

- ・まずは安静（20～30分程度）にし、容体が急激に変化することがあれば、最寄りの病院を受診してください。
- ・受診の際は、「アリに刺されたこと」「アナフィラキシー（重度のアレルギー反応）の可能性があること」を伝えてください。

(図) 今回アカカミアリが発見された場所



(写真) 今回確認されたアリ

(自然環境研究センター 提供)



お問合せ先

(特定外来生物一般に関する事)	環境創造局政策課環境プロモーション担当課長	池谷 庸子	Tel 045-671-3830
(アカカミアリの簡易判断に関する事)	環境創造局環境科学研究所長	百瀬 英雄	Tel 045-453-2550
(港湾施設における対応に関する事)	港湾局施設管理課長	箕輪 竜一	Tel 045-671-7221